

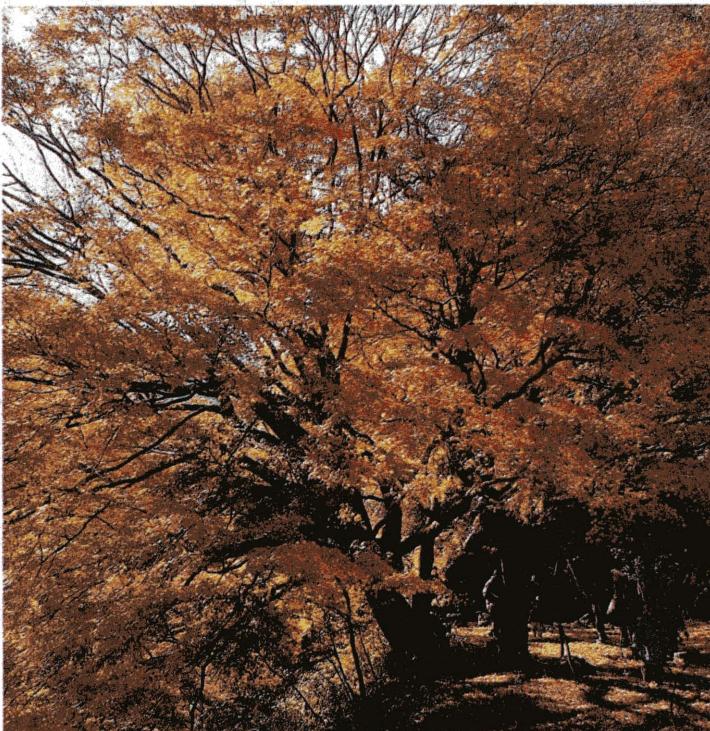
# 紅葉見ながら廃線路を散策 21～23日公開

春日井市から岐阜県多治見市に続く旧国鉄中央線の廃線跡の一部（約1.5km）が21～23日公開される。紅葉が始まった百数十本のモミジを楽しむことができる。また明治期に造られた赤れんがのトンネルではミニコンサートも開かれる。

この区間は1900年に開通したが、現在の中央線の路線ができた66年以降、廃線となった。一般の人は通常、立ち入りはできない。廃線跡を散策路に再生させようとする見学会の開催や募金活動に取り組んでいるNPO法人「愛岐トンネル群保存再生委員会」（春日井市）が企画した。

午前10時から午後3時までの間、自由に出入り、散策できる。JR定光寺駅から徒歩で往復すると、2時間ぐらいかかるという。参加無料。照明のため、懐中電灯などが必要。雨天中止。

トンネルでは、アマチュア有志によるトランペットやハーモニカなどの演奏会、合唱団のコーラスなども予定されている。問い合わせは、同会の村上真善さん（090・4860・4664）へ。



公開される旧中央線の廃線跡。一帯には百数十本のモミジがある＝08年11月、NPO法人「愛岐トンネル群保存再生委員会」撮影